

みかん

開花期を 迎えます



果樹林産センター
小杉 真啓

《着花管理》

今年度産のみかんについては、管内は順序でいえば表年となります。近年は、表年か裏年というよりも園地内で樹毎のバラツキが顕著となっており、みかんの樹の生産性が良くない状態となっています。バラツキ3〜4の樹が、連年で安定生産できます。以下の表を参考に「樹の着花状態に応じた管理」を徹底しましょう。

《着花の多い樹》

ベタ花樹では、蕾が見える時期に前年の夏秋梢をスッコキ（全摘蕾全摘葉）処理することで、処理枝に発育枝が発生し、結果母枝と

着花量	スッコキ	有葉花摘蕾	芽かき・摘芯
甚多（ベタ花）	◎	○	—
多（バラツキ4）	○	◎	—
中（バラツキ3）	—	○	○
少（バラツキ1〜2）	—	—	◎

◎最重要 ○重要 —必要なし

《着花の少ない樹》

花の近くの新梢を芽かきや摘芯して、早期に新梢を緑化させることで生理落果を抑制し、着果確保に努めてください。隔年結果を是正するためには、まずは着花が多い樹の管理を優先してください。

《葉面散布》

新葉は旧葉に比べ光合成能力が高いため、新葉を早期に緑化させることで、着花の多い樹は樹勢維持・回復に、着花の少ない樹は生理落果軽減につながります。先月に引き続き

尿素500倍などを5〜7日置きに3回程散布しましょう。

《病害虫防除》

今月の防除は、灰色カビ病・訪花昆虫です。灰色カビ病は、落弁期の降雨などにより花弁が幼果に付着することで発病し、果実にキズがつきます。基本的には、五分咲き期と落弁期の2回防除を行います。花弁ふるいなど耕種的防除に加え、天候を見て防除時期や回数を見極めましょう。

訪花昆虫では、県病害虫防除所の発表でカメムシの越冬量が多いとなっています。自園をよく観察し、防除を行ってください。

- ・五分咲き期 灰色カビ病 フロンサイドSC 2500倍（30日1回）
- ・落弁期 訪花昆虫 モスピランSL液剤 3000倍（14日1回）
- ・落弁期 灰色カビ病 ナリアWDG 2000倍（30日1回）